作業時の心理評価に及ぼす色彩環境の影響

—色の提示位置の効果に関する予備的研究—
○松田博子¹・名取和幸²
(¹大阪産業大学・²日本色彩研究所)
Key words:色彩環境, 色の提示位置, 心理評価

Color Environmental Influences on the Psychological Evaluation during Simple Work.
Hiroko Matsuda¹ and Kazuyuki Natori²
(¹ Osaka Sangyo University, ² Japan Color Research Institute)
Key words: color environment, proposed location of the color, psychological evaluation

目 的

近年、住空間やインテリアのコーディネートが注目され、かつては殺風景であったオフィスにおいても、企業のイメージを演出するトータルなカラーコーディネートが行われている。パーティションの色によってもオフィスのイメージは大きく変わる。インテリアの色彩環境が作業効率や精神的なストレス等にどのような影響を及ぼしているのだろうか。先行研究(松田・仲谷, 1999)で、作業場面における、壁面使用色による気分への影響が示唆された。本研究では、色彩の提示位置の違い(目の前の小さな壁面と机上面)による、作業時の気分への影響について検討した。

方 法

調査対象者 31歳～72歳の女性26名(平均53.3歳)。
調査実施日 2009年7月16日、晴天。
照明環境 大学講義室、昼白色40w蛍光灯、机上面照度600lx以上、
壁面の色刺激 色用紙(タント100, 4/6判, 80×110cm)、赤(4.5R4.4/12.1)、橙(2.0YR6.5/12.8)、黄(3.3Y8.1/11.3)、緑(4.1G5.1/7.1)、青(5.3PB4.5/7.6)、紫(7.3P4.3/8.5)、ピンク(6.9R/8.8/2.2)、黒(7.3GY2.6/0.3)の8色を用いた。色彩環境として、8個の作業机(二人用)を、窓面を除く教室の壁面3か所に間隔を開けて配置し、作業机に接した前面壁に色用紙を張り付けた。色用紙の下部は作業机の上面の1/3を覆う形とし、作業は机上で行った。机は右回りに赤・橙・黄・緑・青・紫・ピンク・黒の順番に配置した。

机上面の色刺激 壁面に使用した8色相に準ずる市販の4切版(392×542mm)色画用紙を用いた。作業机は教室の中央に2行4列に並べ、机の上に壁面と同じ色順で配置し、作業はこの色画用紙の上で行った。

作業内容 それぞれの机上にやや複雑な幾何学図形(A4)を配置した。その上に白紙(A4)を合図と同時に重ねて置き、下の幾何学図形をトレースしてもらった。使用した図形は飽

きないように同レベル程度のものを8種類用意し、各色に1種類とした。
手続き トレース作業はどこから始めてもよく、完成しなくてもいいことや休憩するときには他の色が目に入らないようにし、壁面の色紙か机上の色画用紙のみを見るように、事前に注意した。その後ランダムに壁面グループ12名(平均53.3歳)と机上面グループ14名(平均53.5歳)に分け、それぞれ好きな色の前に座ってもらった。スタートの合図で白紙を置き、鉛筆かボールペンでトレースを開始させた。1色相につき6分間トレースした後、アンケート用紙に作業の「感想」と(a)この色が好きー嫌い、(b)作業がはかどるー作業がはかどらない、(c)楽しいー楽しくない、(d)気分がいいー気分が悪い、(e)全体的にプラス感情ーマイナス感情の5項目について3段階の心理評価を記入してもらった。記入時間は約3分間とし、1色相が終わると合図に従いアンケート用紙とトレースした紙を机上の所定の位置に置き、右回り(机グループは壁グループと同色順)で、同作業を繰り返した。

結 果

自分の気分に関する評価は、色と、色の提示部位に影響を受けた。色別、心理尺度別に、提示部位と心理評価のカイ二乗検定を行った(表1)。赤は、壁面だと気分が悪くなる人が増えた。橙は机だと気分がいいが、壁面だと気分が良くなかった。ピンクは壁面だと作業がはかどるが、机だとはかどらなかった。反対に黒は机だと作業がはかどる気がし、ちょっと楽しくくらい。壁面だと作業がはかどる気がしなく、楽しくなく、気分が悪く、マイナス感情も多かった。また尺度ごとにプラス側とマイナス側の語を選択した回答率の差を求め、色と提示部位の条件ごとに算出した(表1のスコア)。橙・緑・紫は机上面だと「楽しい」スコアが高くなり、壁面では低くなった。全般に壁面のスコアは黒が一番低く、次に橙が低かった。

考 察

色に対する好悪に関わらず、黒やピンクでは、作業が「はかどる」気がするといった評価は、提示位置によって左右された。同様に「気分がいい」といった感情にも黒や橙の提示位置によって違いが見られた。これらのことから黒やピンク・橙など特定の色では、提示位置によって異なる心理効果が評定され、効率や作業性への影響も予想されることが明らかになった。

引用文献

松田博子・仲谷洋平(1999). 色彩環境が作業時の精神面に与える影響について 日本色彩学会誌, vol.23, p56-57.

表1 壁面と机上面の色相別心理評価(%)とスコア																			
色		好き	嫌い	p	スコア	はかどる	はかどらない	p	スコア	楽しい	楽しくない	p	スコア	気分がいい	気分が悪い	p	スコア	プラス感情	マイナス感情
赤	壁	42	8	33	58	0	58	58	8	50	50	33	17	58	33	25			
	机	50	8	42	69	8	62	54	8	46	46	0	*	46	69	8	62		
橙	壁	54	23	31	25	33	▲8	42	33	8	17	33	*	▲17	33	25	8		
	机	21	7	14	57	7	50	58	8	50	64	14		50	71	14	57		
黄	壁	42	8	33	58	25	33	50	17	33	33	8	25	33	17	17			
	机	54	31	23	46	23	23	69	23	46	46	15	31	62	23	38			
緑	壁	67	0	67	58	8	50	25	8	17	50	8	42	58	8	50			
	机	77	8	69	77	15	62	69	0	69	77	8	69	85	15	69			
青	壁	58	0	58	58	8	50	17	8	8	27	9	18	50	8	42			
	机	43	14	29	43	36	7	14	7	7	21	0	21	50	7	43			
紫	壁	50	0	50	50	8	42	27	18	9	33	8	25	33	8	25			
	机	62	15	46	69	0	69	62	8	54	46	8	38	62	15	46			
ピンク	壁	75	0	75	50	0	50	25	0	25	50	0	50	50	0	50			
	机	57	7	50	17	33	*	▲17	50	14	36	64	14	50	69	8	62		
黒	壁	55	27	27	8	75	▲67	0	75	▲75	0	36	▲38	0	67	▲67			
	机	57	14	43	92	0	**	43	7	**	36	29	7	21	46	8	**	38	

*:p<0.05 **:p<0.01